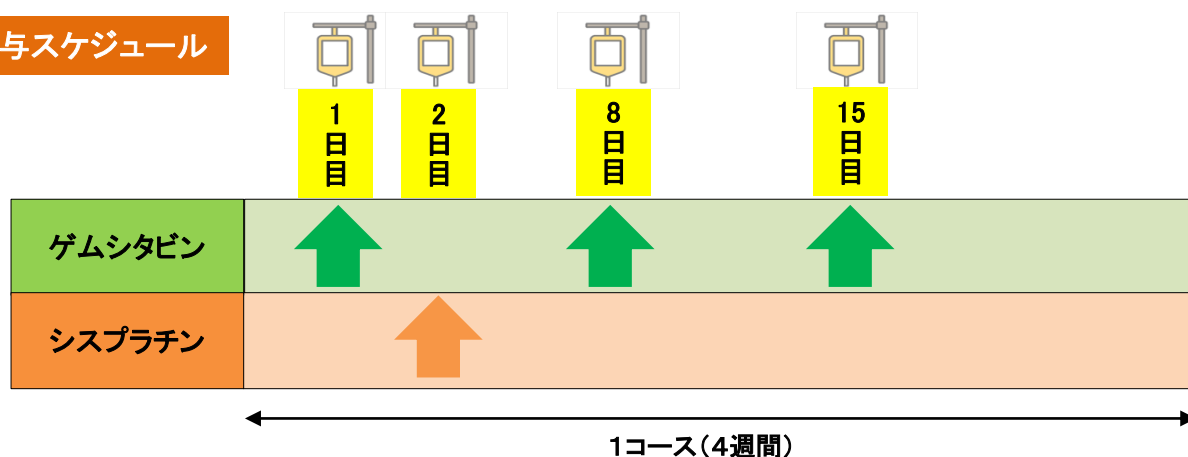


ゲムシタビン + シスプラチン療法を受けられる方へ

●ゲムシタビン + シスプラチン療法は尿路上皮がんに対する治療法です。

投与スケジュール



4週間を1コースとして繰り返します。 ※ 15日目を実施せず、3週間1コースの場合もあります。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●過敏症 ●発熱 ●血管痛 ●腎障害
治療数日～数週間	●吐き気・嘔吐 ●下痢 ●発疹 ●白血球減少 ●血小板減少 ●疲労感
治療数週間～数ヶ月	●貧血 ●脱毛

◇血管痛・静脈炎：疼痛、発赤、腫れ

点滴中および投与後に、注射部位が痛んだり、腫れてきた場合はすぐに医療スタッフにお知らせください。

◇吐き気、嘔吐、食欲不振

消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べたりするようにしましょう。また、スポーツ飲料などで、十分な水分摂取を心がけましょう。

◇白血球減少：発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛

38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人混みを避けましょう。

手洗い、うがいをこまめにしましょう。

怪我をしないように注意しましょう。もし怪我をした時は十分に手当てをしましょう。

◇血小板減少

出血しやすくなり、軽くぶつただけでも内出血が起こります。激しいスポーツなどは避けて、ケガや転倒をしないように気を付けましょう。

身に覚えのない内出血、鼻血などの出血がみられたら、すぐに受診してください。

◇貧血

立ちくらみや冷や汗などを避けるために、急に立ち上がるなどせず、ゆっくりとした動きを心がけましょう。

◇下痢

1日4回以上の排便や水様便がみられた場合は、すぐに受診してください。

水分をこまめに摂り、温かくして安静に過ごしましょう。

◇腎障害：頭痛、尿量の変化、むくみ、ふるえ、痙攣

腎障害は一度起こると重症であることが多く、治療を続けられなくなることがあります。

投与後数日は水分をできるだけ多く取り、尿量を増やすことによって予防できます。

頭痛、尿量の変化、むくみなどの症状が出た場合は医療スタッフにご相談ください。

◇脱毛

シャンプーは刺激の少ないものを使用したり、ブラッシングの回数を減らして髪に刺激をあたえないようにしましょう。